



鉄緑会

中3で高校数学を終える超早回し授業

開成、桜蔭などの超有名校の生徒が通う現役塾。東大理三、難関国立大医学部などを目標にする生徒が多い。中3までに高校の基礎的な内容を終え、高校3年間を使って難関大対策を行う。

設立	1983年
学費例(年間)	高3 76万8200円
入塾試験	あり
合格実績	東大521人(うち理三54人) 京大110人(うち医学部45人) 国公立大医学部581人

普通の子は入れない? 「塾歴社会」を覗き見 超進学校生が こぞって通う 噂のエリート塾

名門校の生徒たちが、中学受験が終わると同時に通い始める少数精鋭型の塾の数々。果たして、どんな教育が行われているのか。



首都圏や大阪には、名門中高一貫校生向けのエリート塾が存在する。大々的な宣伝を打っていないにもかかわらず、先輩やその保護者間の口コミで情報が共有され、難関大学に多くの合格者を輩出している。

「名門中高一貫校生向けの塾の中でも、進学実績が抜きん出ているのが、東京と大阪に拠点を持つ鉄緑会です。2021年度の東大合格者が521人、最難関の理科三類は定員100人にもかかわらず、鉄緑会からの合格者数が54人という圧倒的な実績です。首都圏ではここに加えて、基礎の徹底理解と公式の証明や発見を手間をかけて生徒に体得させる数学教育が評価されているSEG、ノーブルな英語を身に付けられる英語専門の平岡塾

が老舗です。最近では、規模は中堅ながら面倒見の良さで人気が高まっているグノーブルも頭角を現しています。関西では研伸館も人気です」

そう語るのは、進学塾に詳しい教育ジャーナリストのおおたとしまさ氏だ。

「元来、灘・開成・筑波大学附属駒場・桜蔭・麻布といった伝統ある進学校のカリキュラムは、大学受験に特化したものではありません。学校はあくまでアカデミックな学びの場であり、人間関係を構築したり、部活や文化祭を楽しんだりする場で、塾は受験勉強の場として使い分けて大学受験に臨むという生徒も少なくありません。これらの学校が、高い大学合格実績を出し続けている裏には、この

ような塾の存在があることは否定できないでしょう」

中3までに高校のカリキュラムを終わらせる

こうした塾の中で唯一、指定校制度を設けているのが鉄緑会だ。東京・代々木本校の場合、中1の春に限り、開成、桜蔭、筑駒、麻布といった有名校13校の生徒は、無試験で入塾が認められる。

1983年に設立され、東大や国公立大医学部を志望する生徒が多く集まる。カリキュラムの特徴は、一言で言えば極度の早回しだ。会長の福田賢太郎氏は次のように語る。

「私どもの塾では、英語と数学は中1の1年間で中学の範囲を一通り終え、中3までに高校の全範囲の基礎レベルの学習を終えてしまいます」

大学受験に力を入れている私立中高一貫校の場合、高2までかけて受験範囲の学習を終えるが、鉄緑会ではさらに1年以上も早く一通りの学習が終わることになる。

英語・数学の受験範囲の学習を中学生で終えることで、残りの3年間を難関大対策に使えるのだという。

「高1の英・数では共通テストや、中堅レベルの大学入試問題を解く力を身に付けさせます。高2では東大をはじめとする難関大の問題で実戦力を鍛え上げ、高3の1年間は、演習中心で仕上げをします。英・数は高3

の負担が軽く、その余力を理科・社会に注いで余裕を持って東大や医学部の入試を突破できる総合力を身に付けてもらいます」(福田氏)

授業は1コマ3時間。講義だけではなく、実際に問題を解かせ、手を動かすことで理解を深めていく。宿題はどの程度出るのだろうか。

「1週間に必要な自宅学習の時間は中学生で1教科あたり約2時間、高1でも4〜5時間程度と、負担は大きくありません。一方、高2になると本格的に難易度の高い入試問題に取り組むため、最低でも5〜6時間程度は必要になります」(福田氏)

講師は東大生や難関大医学部の学生が中心だ。講師の大半が鉄緑会出身者だという。

「生徒と年齢が近いため、生徒にとっては相談しやすく、アドバイスにも説得力を感じるようです。生徒のモチベーションを高めて「先輩のようにになりたい」と思わせてくれる存在になっています」(福田氏)

指定校以外の学校の生徒も試験に合格すれば、入塾は可能だ。

「入塾試験は授業に付いてこられるかを見るための試験です。進度が学校や他塾よりかなり速いので、入塾試験にはまだ習っていない範囲が出る可能性があります。途中から入る場合には、その範囲もしっかり学習しておく必要があります」(福田氏)

灘や開成といったトップレベルの学

お茶の水ゼミナール

東大も海外大も狙える



私立、国立、公立の幅広い学校から生徒が通い、少数制で面倒見の良い現役専門塾として知られる。私立一貫校生には、英語4技能を育て、SAT対策や

TOEFL iBT対策も行う海外大併願コースの人気の高い。

創立 1979年

学費例(年間) 高3 87万円

入塾試験 あり

合格実績 東大16人、ハーバード大、イェール大、プリンストン大などに合格者輩出(2019~20年度)

SEG

思考力を育てる数学教育が魅力

数学教育で評価されているエリート塾。解法の解説ではなく、基礎の徹底理解と公式の証明や発見を手間をかけて生徒に体得させる。「数学Extreme」という思考力や発想力を磨くための講座も設けられている。

創立 1981年

学費例(年間) 高3 62万2400円

入塾試験 コースによる

合格実績 東大87人(うち理三1人)
京大21人(うち医学部1人)
国公立大医学部83人

研伸館

中高の垣根をなくした効率的カリキュラム



私立・公立を問わず関西のトップ進学校の一步先をいく学習ペースで、学習単元の中身を精選し、その時期に適した学習内容を提供する現役塾。進度×レベルでコースが設定されており、いずれのコースも志望大学レベルに到達できるよう設計されている。

創立 1978年

学費例(年間) 高3 54万8460円

入塾試験 あり

合格実績 東大57人、京大70人(うち医学部7人)
国公立大医学部65人

桁の合格者を輩出している。中学部教務部の櫻田邦浩氏は、その特徴を次のように語る。「大学入学後も活躍できる学力が身に付く授業をしています。教材は現場の講師自らが作成し、目指すのは、生徒たちが真剣になれる授業です。その場での演習を重視し、鮮度が落ちないうちに解説しますから、生徒の理解も深くなります。生徒たちの頭がフル回転するには教材に魅力がなければなりません。現場の講師自ら開発し改良を重ねています」

「卒業生からはよく、「楽しく学べて、良い意味で受験勉強らしくない」という声が聞かれるという。「授業は生徒たちとやりとりしながら進めています。能動的に参加する中で得られる、時間を忘れるような体験、終わったあとの充実感をぜひ味わってほしいと思います」(櫻田氏)

英語では単語帳を使わず、語源を踏まえてイメージを膨らませ、英文のまま理解させるなど、ユニークな指導法を取り入れているという。

授業で演習を多めに行う分、宿題は他塾に比べて少なめになっており、部活や行事などの学校生活とも両立がしやすいという。

「数学では宿題の答案などを回収します。担当講師が細かく添削、コメントも残して返却しています。難関校生を含め多くの中高生が、勉強を真剣に楽しんできてくれています」(櫻田氏)

塾を使いこなせるかどうかは本人次第

中高一貫校生向けの塾は、大手予備校に比べて、学力観や学習へのアプローチに特徴があるため、選ぶ際には注意が必要だ。

塾の特徴や持ち味が誰にでもプラスに働くとは限らない。たとえば、文化祭や部活を楽しみたい子にとっては、通塾頻度の多い塾は向いていないかもしれないし、模試の成績を早く上げた子にとっては、数学的思考にこだわったアプローチの塾は合わない可能性がある。

「有名校に通う優秀な生徒であっても、こうした塾の進度には全員が付いてい

けるわけではありません。なかには塾と学校、どちらも中途半端になってしまう子もいるようです」(おおた氏)

中高6年間を通じて得た経験の本当の価値は、20年後、30年後にならないとわからないと、おおた氏は言う。「学校教育、部活、留学、文化祭などさまざまな経験が子供の人生の幅を広げてくれます。大学受験もその一つにすぎないのです」

それぞれの塾がどんな姿を目指し、どのような学力を身に付けさせようとしているか。進学実績以外にも十分な情報を集めるとともに、中高6年間をどのように過ごしたいか、学校と塾のバランスをどう取るのがよさそうかを考えてみてほしい。

半世紀以上前から不変のカリキュラム

平岡塾は1965年に創立された英語専門塾だ。国際社会に通用する「生モノの英語力」をうたい創立以来、教育方針は変えていない。カーベットの上にローテーブルが並べられた、寺

子屋のような雰囲気のある教室で学習する。入塾試験はなく、高3まで学力別クラス編成も行わない。公立中・高も含めて多様な学校の生徒が通っているが、東大合格率は80%以上を維持しているという。

「英語は文法という土台ができて初めて、大学受験はもちろん、社会で通用する正しい力が身に付きます。平岡塾では、文法を基礎から丁寧に教えていきます」と話すのは、長年講師を務める白土珠穂氏だ。

平岡塾で使用する文法のテキストは数十年間、ほとんど変わっていない。多くの学校で中高6年間かけて学ぶ文法を中2までに終わらせる。

文法の全体像がわかると一気に英語が理解しやすくなり、読解や英作文、

スピーキング力などを効率よく養えるようになるという。

「高1秋には大学受験レベルの内容はほとんど終わり、共通テストで満点を取る子も少なくありません。読解では早くから良質の英文に触れるため、中1の『ドン・キホーテ』に始まり、高校生ではデカルト、ラッセルなどの哲学書やオーウェルの文学作品といった名文・美文を読みます」(白土氏)

専門塾ということもあり、他塾との掛け持ちも多いそうだ。

「高2くらいで難関大に合格するレベルに到達するので、高3以降は他教科の学習に時間を回すことができます」(白土氏)

1回の授業は中1でも最低3時間、高校生になると、17時から22時までと

5時間近くになることもある。

「授業では毎回、ネイティブによるスピーキングやリスニングのレッスン、文法、読解、英作文のすべてを扱います」(白土氏)

平岡塾では「語学は楽器演奏やスポーツなどの身体技能に近い」という考えのもと、毎日英語に触れることを重視している。そのため、宿題は比較的少ないそうだ。

「コツコツと日々努力を重ねることができれば、どんな子でも高い英語力を身に付けることができます」(白土氏)

教材と添削にこだわる新興中規模塾

2006年創立のグノーブルは比較的新しい中規模塾だが、東大に3



平岡塾

一生使える英語力で受験をやすやす突破

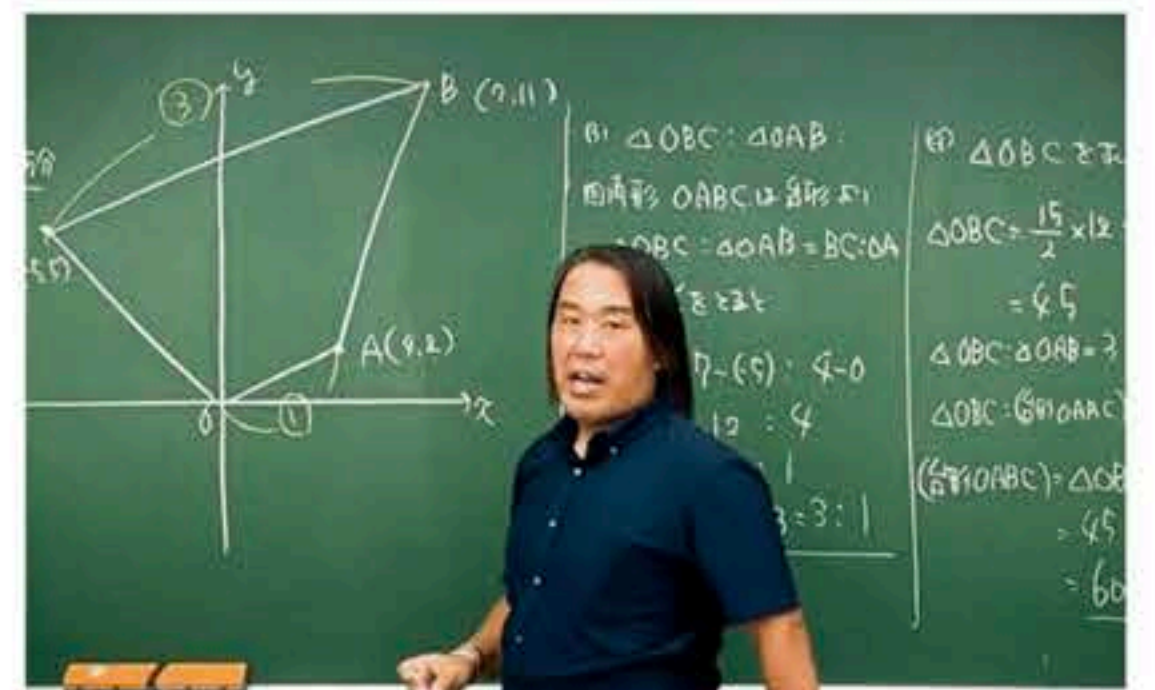
昔ながらの英文法重視の塾。英語は楽器演奏やスポーツのような実技に近いという考えから、反復トレーニングを通じて英語を体にしみ込ませてゆく。英語教育の評価は非常に高く、他塾との掛け持ちも多い。

創立 1965年

学費例(年間) 高3 28万8000円(英語単科)

入塾試験 なし

合格実績 東大合格率80%以上



グノーブル

大学進学後も見据えた質の高い授業

学校生活も受験勉強も充実させたい子が多く通う塾として知られる。大量の宿題をこなしてトップ校に合格することではなく、大学進学後にこそ勉強を楽しめる力を育むことを目標としている。

創立 2006年

学費例(年間) 高3 101万7060円(理系の場合)

入塾試験 あり

合格実績 東大125人(うち理三7人)
京大11人(うち医学部0人)
国公立大医学部61人